

職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地		
学校法人 水戸電子専門学校	昭和61年4月1日	八文字 和宏	〒310-0812 茨城県水戸市浜田2-11-20 (電話) 029-221-8738		
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地		
学校法人八文字学園	昭和57年4月1日	八文字 蓉子	〒310-0812 茨城県水戸市浜田2-11-18 (電話) 029-221-8771		
目 的	グラフィック、Web、映像、DTP、アニメーションなど各種クリエイティブ関連企業、および家電、電気設備、ネットワーク関連企業への就職を念頭に、当該分野の知識と技術の習得をめざす。				
課 程 名	学 科 名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
工業専門課程	情報メディア学科	2年 (昼)	2000 単位時間 (又は単位)	平成17年文部科学大臣告示第177号	—
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技
	362単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	1638単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人	26人	14人	1人	14人	
学期制度	■ 2 学期：前期・後期 前期：4/1～9/30 後期：10/1～3/31		成績評価	■成績表 (有) ■成績評価の基準・方法について A/B/C/Dの4段階評価。Dは不可。	
長期休み	■ 学年始め：4/1～4/5 ■ 夏 季：8/1～8/31 ■ 冬 季：12/21～1/7 ■ 学 年 末：3/1～3/31		卒業・進級条件	すべての科目においてD(不可)のないこと。	
生徒指導	■クラス担任制 (有) ■長期欠席者への指導等の対応 教職員全員で協議、補講などで対応		課外活動	■課外活動の種類 郊外清掃など地域ボランティア ■サークル活動 (無)	
主な就職先	■主な就職先、業界 デザイン/印刷会社、電気/設備会社 ■就職率 100%		主な資格・検定	色彩検定、マルチメディア検定 工事担任者DDⅢ種、 家電アドバイザー検定	
中途退学の現状	■中途退学者 2名 ■中退率 6.7% 平成27年4月1日在学者 30名 (平成26年4月入学者を含む) 平成28年3月31日在学者 28名 (平成27年3月卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 授業課題未提出のため ■中退防止のための取組 入学時と入学後に様々な機会を利用し面接を実施、ケアを図っている。				
ホームページ	URL: www.mito.ac.jp/technology/index.html				

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針) 全クリエイティブ領域

【企業側から】・業界における変化とそれに対する対応を聞き取る。・先進の機械設備や制作にかかわるソフト的なツールの状況を聞き取る。・業界動向変化の予測を聞き取る。・教育関連分野での情報を聞き取る。

【学校側から】・カリキュラムの内容と指導法を企業に伝える。・研修等により、新しい業界動向を見聞した際は、それを企業側に伝える。・学生側からのカリキュラムや指導法につき要望があった場合、それを企業に伝える。最終的に、上記を踏まえつつ、協議により教育課程を編成する。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成 28 年 3 月 31 日現在

名 前	所 属
中井 英一	茨城大学 理学部 教授
三瓶 哲也	JPC 株式会社 代表取締役
武井 篤	株式会社 新日東 営業部
島田 宏之	茨城大学 教育学部 教授
松本 英俊	デジタルサーブ株式会社 代表取締役
小澤 賢侍	公益財団法人 画像情報教育振興協会 教育事業部 セクションチーフ
広木 公	株式会社 近宣 水戸支店 支店長
坂 大樹	茨城デザイン振興協議会 副会長
八文字 和宏	水戸電子専門学校 学校長
助川 正己	水戸電子専門学校 教頭
佐々木 英宣	水戸電子専門学校 情報処理科長
相田 慎介	水戸電子専門学校 情報システム学科長
橋本 克之	水戸電子専門学校 情報メディア学科長

(開催日時) 第1回 平成 27 年 11 月 19 日 (木) 14:00~16:00 第2回 平成 28 年 3 月 24 日 (木) 14:00~16:00

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

企業側は、時代に即した実際の仕事の進め方、および技術を指導。学校側は、それをサポートするとともに、ツールの基本と、デザイン全般の基礎知識を隔たることなく指導する。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
Web 制作 I、II、III、IV	1・2 年の合同実習。Web デザインの知識と技術を習得し、最終的に各自 Web サイトを完成させる。	株式会社スタジオ サカ

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針) クリエイティブ業界全般の動向を把握し、最新の知識と技術を学び、学生指導に活かす。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成 28 年 3 月 31 日現在

名 前	所 属
広木 公	株式会社 近宣 水戸支店 支店長 (卒業生)
佐藤 有宣	佐藤豊店 (地域住民)
川上 典夫	川上陶器店 (地域住民)
山田 真起子	介護福祉士 (地域住民)
荻野 雅子	JPC 株式会社 (卒業生)
中井 英一	茨城大学 理学部 教授
島田 宏之	茨城大学 教育学部 教授
武井 篤	株式会社 新日東 営業部
小澤 賢侍	公益財団法人 画像情報教育振興協会 教育事業部 セクションチーフ

(学校関係者評価結果の公表方法) URL: www.mito.ac.jp/disclosure/index.html

5. 情報提供

(情報提供の方法) URL: www.mito.ac.jp/disclosure/index.html

授業科目等の概要

(工業専門課程 情報メディア学科) 平成 27 年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実習・実技
○			就職対策Ⅰ	就職するために必要な知識やテクニックを、マナー・コミュニケーション・プレゼンテーションをキーに指導。また、企業研究も行う。	1前	26	1	○		
○			就職対策Ⅱ	就職対策Ⅰの内容を踏まえ、面接指導や各種シートの作成法指導など、後期明けに本格化する就職活動へ向けた、実践的対策授業を行う。	1後	26	1	○		
○			就職対策Ⅲ	就職活動最盛期の期間。さらなる実践指導を行うため、個別指導の密度を高める。	2前	26	1	○		
○			就職対策Ⅳ	就職内定者へは卒業までにしなればならないことを指導し、未内定者にはさらなる個別指導を通して内定へ導く。視覚教材を使いながら、社会人へ向けての希望を膨らませる。	2後	26	1	○		
○			卒業研究	2年間学んできたことの集大成。Web デザインやアニメーションにかかわる卒業制作のために必要な知識を講義形式で指導する。	2後	78	3	○		
○			卒業研究	Web デザインやアニメーションの実制作のための授業。さまざまなツールをそれぞれが使用するため、個別に指導することを基本とする。	2後	180	7		○	
	○		ビジネス実務Ⅰ	ビジネスに必要な知識、マナーなどを習得し、仕事をする上で重要となるコミュニケーション力も培う。また、ビジネス検定試験の取得を目指す。	1前	26	1	○		
	○		ビジネス実務Ⅱ	ビジネス実務Ⅰの内容を受け、さらなる知識と、より高い資格の取得をめざす。	1後	26	1	○		
	○		コミュニケーションⅠ	社会生活をする上で欠かせないコミュニケーション力を養うため、社会情勢や日常生活にからめた諸問題を討論しながら、問題提起～解決の手順を身につける。	1前	52	2	○		
	○		コミュニケーションⅡ	コミュニケーションⅠから更に進めて、より難易度の高い内容について考える力を養う。	1後	52	2	○		
	○		コミュニケーションⅢ	自分で問題を提起し、それを解決に導く手法を探り、解決後はそこから新たな問題を見出す。自ら考えることをより体系化した手法に基づき実証することを学ぶ。	2前	52	2	○		
	○		コミュニケーションⅣ	コミュニケーションⅠ～Ⅲを通して身に付けた力を、社会の中でどう活かしていくかを中心テーマに、数多くの討論を行う。	2後	52	2	○		
	○		工事担任者 DDⅢ種Ⅰ	デジタルネットワーク回線装設技術者国家資格を取得するため、2年にわたり、「電気基礎」「技術」「法規」の学習を行う。	1前	26	1	○		
	○		工事担任者 DDⅢ種Ⅱ	デジタルネットワーク回線装設技術者国家資格を取得するため、2年にわたり、「電気基礎」「技術」「法規」の学習を行う。	1後	52	2	○		
	○		工事担任者 DDⅢ種Ⅲ	デジタルネットワーク回線装設技術者国家資格を取得するため、2年にわたり、「電気基礎」「技術」「法規」の学習を行う。	2前	26	1	○		
	○		工事担任者 DDⅢ種Ⅳ	デジタルネットワーク回線装設技術者国家資格を取得するため、2年にわたり、「電気基礎」「技術」「法規」の学習を行う。	2後	52	2	○		

○	家電アドバイザーⅠ	生活家電製品に関する知識と、製品および顧客に係る法律を学び、生活家電製品アドバイザー資格取得を目指す。	1前	26	1	○		
○	家電アドバイザーⅡ	生活家電製品に関する知識と、製品および顧客に係る法律を学び、生活家電製品アドバイザー資格取得を目指す。	1後	46	2	○		
○	家電アドバイザーⅢ	生活家電製品アドバイザー取得後、AV家電製品アドバイザー資格を取得することにより、「総合家電製品アドバイザー」資格取得を目指す。	2前	26	1	○		
○	家電アドバイザーⅣ	生活家電製品アドバイザー取得後、AV家電製品アドバイザー資格を取得することにより、「総合家電製品アドバイザー」資格取得を目指す。	2後	46	2	○		
○	色彩概論Ⅰ	各種デザイン分野で必須となる色彩に関する知識を学習し、「色彩検定3級」あるいは「カラーコーディネーター検定3級」の資格取得を目指す。	2後	52	2	○		
○	色彩概論Ⅱ	色彩概論Ⅰから更に進め、色彩検定2級の資格取得を目指す。	1後	52	2	○		
○	色彩概論Ⅲ	色彩に関する知識をより強固にするため、一人ひとりが、与えられたテーマについてレポート制作を行う。	2前	26	1	○		
○	色彩概論Ⅳ	色彩概論の集大成として、研究発表を行う。各自の興味に合わせ、テキストでは習わない内容を織り込みながら、個人あるいはグループで研究、プレゼンテーションを行う。	2後	26	1	○		
○	Web制作Ⅰ	Webデザインにかかわる基礎的知識の習得と、制作ツールの技術習得を目指す。	1前	72	3	○		
○	Web制作Ⅱ	さらなる知識の習得と、制作ツールの技術習得を目指しながら、アニメーションを含む各種コンテンツ制作に必要な知識・技術の習得もめざす。	1後	72	3	○		
○	Web制作Ⅲ	ホームページの制作やアニメーションの実制作を通して、学んできた知識と技術をしっかりと定着させる。また、実制作の現場を見学したり、現役制作者の考え方も学ぶ。	2前	36	1	○		
○	Web制作Ⅳ	Webデザイン制作の集大成として、卒業研究と連動させる形で、オリジナルWebサイトをデザインする。	2後	36	1	○		
○	制作研究Ⅰ	アニメーション、映像、3D、音楽、スクリプト言語など、さまざまなツールを学生自らが能動的に研究する。	1前	36	1	○		
○	制作研究Ⅱ	制作研究Ⅰを踏まえ、各自が選んだツール2点につきより深く研究し、プレゼンテーションする。	1後	36	1	○		
○	制作研究Ⅲ	アニメーション、映像、3D、音楽、スクリプト言語に関する新たな興味を見出し、あらたな二つのツールを研究。	2前	36	1	○		
○	制作研究Ⅳ	制作研究Ⅲを継続し、最終的に2つのツールにつきプレゼンテーションする。	2後	36	1	○		
○	PC工学Ⅰ	コンピュータの構造を知識として学習し、更に自信の手によって組み立てを行うことで理解を深める。	1後	72	3	○		
○	ネットワーク構築Ⅰ	Webサーバに代表されるネットワークをLAN内に構築し、その運用を学ぶ。	2前	72	3	○		
○	CG概論Ⅰ	CG（コンピュータグラフィックス）とその周辺機器を使って、様々な制作領域の知識と実技を体験・学習する。	1前	36	1	○		
○	CG概論Ⅱ	CG概論Ⅰで学んだ基礎的な知識と技術を、CG制作の実践の中で検証し、また、CGに関する各種検定試験に挑戦する。	2後	36	1	○		
○	CG概論Ⅲ	より高度な技術習得を目指しながら、同時に高度な資格を取得するよう促す。	2前	36	1	○		

○	デザイン制作実習Ⅰ	さまざまなデザイン分野を概観しながら、基礎的なデザイン技法を学んでゆく。	1前	72	3	○	
○	デザイン制作実習Ⅱ	グラフィック、Web、映像、DTP、3DCG、アニメーション、サウンドなど、様々な制作領域の知識と実技を体験・学習する。	1後	72	3	○	
○	デザイン制作実習Ⅲ	デザイン制作実習Ⅱをより推し進め、より高度なデザイン制作を実現できるよう指導する。	2前	72	3	○	
○	デザイン制作実習Ⅳ	卒業研究と連動する形で、よりデザイン性に富んだ制作物をつくれるよう課題制作を繰り返す。	2後	72	3	○	
○	イラストレータⅠ	グラフィックデザイン、DTP（デスクトップパブリッシング）で基本となる、イラストレータの基礎的知識と技術を学ぶ。	1前	72	3	○	
○	イラストレータⅡ	イラストレータⅠから更に進めて、より高度で、実践的な知識と技術を学ぶ。	1後	72	3	○	
○	イラストレータⅢ	できるだけ多くの課題制作を通して、身に付けた知識と技術を確認としたものにする。	2前	72	3	○	
○	フォトショップⅠ	画像処理で基本となる、フォトショップの基礎的知識と技術を学ぶ。	1前	72	3	○	
○	フォトショップⅡ	フォトショップⅠの内容を踏まえながら、より高度な知識と技術を習得させる。	1後	72	3	○	
○	フォトショップⅢ	イラストレータとの連携を考えながら、できるだけ多くの課題制作を行う。	2前	72	3	○	
○	DTPⅠ	DTP（デスクトップパブリッシング）にかかわる基礎的知識の習得と、制作ツールの技術習得をめざす。	1前	72	3	○	
○	DTPⅡ	実際の仕事場を見学したり、現時点での最新事情を外部担当者を変えながら学んでゆく。	1後	72	3	○	
○	DTPⅢ	さらなる知識と技術の習得を目指す。またその実践としての学校案内作成の準備を行う。	2前	72	3	○	
○	DTPⅣ	集大成として、学生の声を反映させるフリーペーパーの制作を行う。学生自らが企画、制作、印刷発注、プレゼンテーションする。	2後	72	3	○	
○	造形Ⅰ	クリエイティブ職に必要な、基礎的美術・造形力を磨くために、デッサン、フリーイラストレーション、オブジェ制作を演習する。	1前	72	3	○	
○	造形Ⅱ	造形Ⅰを更に発展させ、さらなる知識と技法を学ぶ。また、さまざまな造形物を制作する。	1後	72	3	○	
○	造形Ⅲ	2年生には、できるだけ自らが考えたものを制作物に反映させるよう指導する。使用する画材種類も、紙から立体物まで幅広く使用する。	2前	72	3	○	
○	造形Ⅳ	集大成として、パネル制作（立体造形物）を行う。卒業制作と連動し、プレゼンテーションする。	2後	72	3	○	
○	ワープロソフトⅠ	Microsoft Office SpecialistのWordを学習し、MOS資格取得のための基礎的知識と技術を学ぶ。	1前	72	3	○	
○	ワープロソフトⅡ	Wordの学習を推し進め、MOS資格取得を目指す。	1後	72	3	○	
○	ビジネスソフトⅠ	Microsoft Office SpecialistのExcelを学習し、MOS資格取得するための基礎的知識と技術を学ぶ。	1前	72	3	○	
○	ビジネスソフトⅡ	Excelの学習を推し進め、MOS資格取得を目指す。	1後	72	3	○	
○	ロボット制御Ⅰ	簡易ロボットを通じ、製作とその制御を学ぶ。	2前	72	3	○	

	○		ロボット制御Ⅱ	自身の発想を具体的なものとしてロボットを作成し、その制御プログラミングを学ぶ。	2後	72	3		○	
	○		自由研究Ⅰ	自分が興味を持って学ぶことが出来る分野（グラフィック、Web、アニメーションなど）を選択し、研究形式で学習する。	2前	72	3		○	
	○		自由制作実習Ⅰ	これまで学んできた様々なツールを使いながら自由に制作活動を行い、それをプレゼンテーションする。	2前	72	3		○	
	○		自由制作実習Ⅱ	自由制作実習Ⅰをさらに発展させ、それを卒業研究に取り入れながら、卒業研究制作物より魅力的なものへと導く。	2後	72	3		○	
	○		プレゼンテーションⅠ	Microsoft Office Specialist の PowerPoint を学習し、MOS 資格取得を目指すと同時に、ビジネスの場で必要なプレゼンテーションの知識と技術を磨く。	2前	72	3		○	
	○		映像制作実習	ビデオカメラによる撮影、Premiere などの編集ソフトを使った編集を行い、映像制作を試み、プレゼンテーションする。	2後	72	3		○	
合計			66 科目			2000 単位時間				